

国際教養大学 アジア地域研究連携機構主催

Akita Ranga and Its International Dimensions



企画パネル展：「世界の中の秋田蘭画」

主催：国際教養大学・アジア地域研究連携機構 AIU/IASRC
企画制作監修：阿部邦子 (Kuniko Abe, Ph.D. History of Art, Associate Professor)

展示期間：平成 29 年 (2017 年) 11 月 8 日 – 平成 30 年 (2018 年) 1 月 12 日 (期間延長)
展示場所：国際教養大学 中嶋記念図書館 Nakajima Library
展示方法：パネル展示のみ Panel Exhibition
A1 サイズ ポスター 12 枚

国際教養大学・アジア地域研究連携機構主催による「世界の中の秋田蘭画」パネル展覧会が同大学図書館内で開催されています。この展覧会は、日本の西洋風絵画のパイオニアである江戸後期の秋田藩士による「秋田蘭画」を紹介するものです。

原点は秋田県の文化遺産の研究、そしてその保存、活用に関する一つの調査研究としてスタートした「世界の中の秋田蘭画」という研究テーマにあります。この中では、東西美術の比較研究を通して、世界の美術史の中での秋田蘭画の位置や歴史的意義を探り、その特異性を明らかにしようとしてきました。

今回は、秋田県内にその多くが所蔵されているこの秀逸な文化遺産への関心、また理解を深めることを目的に、秋田蘭画の主要作品を、解説を加えながらパネル（ポスター）で紹介しています。特に、秋田蘭画の国際的な広がりにも焦点をあてながら、グローバル時代の新しい視点での語りを提案しています。

紹介する主な作品：

小田野直武作 解体新書 扉絵、鷹図、芍薬花籠図、不忍池図
佐竹曙山作 松に唐鳥図、松に椿に文鳥図、写生帖（唐鳥図、天蚕図、螺旋階段図）

協力：

秋田市立千秋美術館、秋田県立近代美術館、仙北市角館平福記念美術館、天理大学附属天理図書館、国会図書館、大英博物館

KUNIKO ABE

秋田蘭画 パネル展 2017 KA